

## 「昭和天皇が現れて」

今回のブログはようこが昭和天皇にまつわる話を大人会議でシェアしたところ、いさどんが昭和天皇様とのエピソードを話してくれたので、みなさんに紹介します。

ようこ：

5月に入ってから夜休んでいると、衣冠束帯の姿をした方が自分の前に現れるようになりました。でも、表情は見えなかったので、「この方は神様でおられるのか、亡くなられた人の魂なのか、誰なのだろう？」と思っていました。そして、いさどんの生前葬の翌日の夜にその方の顔が浮き上がり、それは昭和天皇であることが分かりました。

今朝いさどんに会った時、自分の中に同じ姿をした昭和天皇がまた現れたのですが、特に言葉はなく、ただいさどんに会いに来たようでした。いさどんの生前葬前後に正装で現れた昭和天皇は、いさどんに「よろしく」と言っているようでもあり、また肉体を所有しない世界に「ようこそ」とでも言っているようでした。

以前、いさどんのもとに昭和天皇の魂がいらっしゃり、「日本をよろしく」と言われたという話を思い出し、いさどんに「その時の昭和天皇もこのような姿をしていらっしゃったの？」と聞いたら、「雰囲気としてはそんな感じだったね」と思っていました。いさどんの生前葬の最中は昭和天皇がいらっしゃっているという感覚はなかったのですが、きっとこの祭事にも参列しておられたのだと昨晚思いました。

いさどん：

僕が30歳の12月26日から（その以前からおばあさんとの間にはありましたが）、上からのメッセージをいただくようになりました。そして、しばらくしてから「1000日の業をいたせ」という言葉が降りてきたのです。「何をしたらいいのだろうか？」と思っていました。その日から毎日瞑想をすることになりました。1000日、3年間（ $3 \times 365$ 日＝1095回ほど）、瞑想をしました。その1年後、今から29年前の1982年、昭和57年頃、僕は幽体離脱をするようになりました。その極みは、瞑想の最中に宇宙へ飛び出して、地球を見てくるというようなことが起こりました。背中に月があり、目の前に地球がある。地球を外から見て、地球と人類の関わりを転換しなければと思ったのです。人類は地球のガンのようだけれど、人類を地上に降りてきた本来の目的に目覚めさせなければいけない。その体験は僕の世界観に大きな影響を与えました。

それから7年、日々霊的な対話を天としながら真面目に歩んできました。自分に理想がありながら、同時に自分の非力さに悩んできました。ブッダから道をいただきながらも、そのマスターに専念して世の中に伝えることが十分にできていない状況でした。当時も毎日相談者が僕のもとを訪れてはいましたが、自分の中にはどうしても不足感がありました。

昭和 63 年に昭和天皇が病気になられました。その当時は瞑想をする時は病床に伏している昭和天皇に心を向けていました。亡くなった時に僕は天皇を思い浮かべ、言葉をかけていました。「私は今、天からこの国、そしてこの世界の行く末の道を開くようにと命をいただいている者です。しかし、私はいっこうにその役割が果たせそうになく、悩んでいます。私のような力のない、名もない、影響力のないものがそのような命をいただいても、志だけが高く空回りして、歯がゆい思いをしています。あなたは天皇と言われるくらい有名でもあれば、大きな影響を持っておられる方です。あなたが肉の体を持っておられるうちは、私のような者はお目通りなどできない関係でした。しかし、あなたはこの国の象徴として、大きな役割を果たされました。私は何でもないのであっても、この国の将来、人々の未来について大きな使命を自覚しています。私はあなたが肉体を持っているうちは、あなたに問いかけをすることができない立場でしたが、肉体を離れられたのなら、私の言葉はあなたに通じているはずですよ。あなたの大きな影響力をこの世のために、私に貸して下さい。それはあなたの意思でもあるはずですよ。」

そのような言葉を瞑想中に投げかけていました。そうしたら、ある映像が浮んできました。地上から光の玉を先頭に、光のラインが天へ昇っていく。それが目の上 45 度くらいまで上がった時に、下からぶわっと無数の、例えるならとなりのトトロのまっくろくろすけのようなものが、中心の玉に向かってまとわりついたのです。その時に、叫びが聞こえました。「昭和天皇様ー！」と慕っている心、そして「昭和天皇めー！」という恨みの叫び。水風船のようなぶよぶよの玉が光の玉に向かっていき、巨大な玉になっていきました。その時に、僕は理解できました。この方は沢山の魂の目標になって、慕われたり、恨まれたりと、それほど地上で大きな役割をされて亡くなった。そのかたまりが大きくなって回りだした時に、天から光の柱が降りてきて真ん中に刺さりました。そうしたら、黒いかたまりは散り散りになり、光の玉は天の光に引かれて昇っていったのです。その時に、「昭和天皇様は現人神だった」と思いました。昭和天皇は、金星に帰って行ったのです。僕は金星から来た魂ですが、この方も金星から、人類を目覚めさせる役割として降りてきたのだと思いました。僕は本当はこれからやることについて力になってほしい、ということへの返事が欲しかったのですが、それを見て返事はいらなないと思いました。

数年後、愛知県の春日井市にあるマンションの内装の仕事をしていたら、後ろの壁の角あたりに誰かがいる気配がしました。振り返ったら、昭和天皇様がいらっしゃいました。「えらい所へおいでになりましたね」と言ったら、この方は非常にかしこまって挨拶をされました。「その節は、私に声をかけてくださったにもかかわらず、何も返答をせずにおり、大変申し訳ありませんでした。あなたがどんな方かということがわかりましたので、改めて挨拶に参りました。日本の国をよろしく願います。」天の神々は、日本のことを「日の本の国」と言いますが、昭和天皇様は肉の体を持っておられた方なので、「日本の国」とおっしゃいました。改めて自分にそう言われて、「そんなことが自分に出来るのだろうか」と疑心暗鬼

の状態でその言葉を受けました。それが 1988 年、僕が 37 歳の時のことです。

それから 2 年と少し後、39 歳の時、僕は 9 年間のお釈迦様からの学びを終え、日の本の神々から命を受けるようになりました。それと同時に 12 歳年上と 12 歳年下のシャーマンと関わるようになったのです。年下の方のシャーマンのお母さんから、ある時電話がありました。「今、昭和天皇様がおいでになっています。すぐ来てください」と。夜の 11 時頃だったと思います。名古屋市守山区にあるその家に行くと、昭和天皇がシャーマンの中に入れて待っておられました。シャーマンは、昭和天皇様の顔をしていました。雰囲気もそのままです。そして、「先日は、突然あなたの仕事場に行き、失礼しました」と言って、あのマンションの話をするのです。シャーマンはそれをまったく知らないのに。霊的なものへの確信はもともとありましたが、その時にこの出会いは本物だということを確認しました。

そして、それ以後も昭和天皇様は事あるごとにおいでになりました。創立メンバーの中にはその場面に立ち会った人もいます。シャーマンのいくよさんは、言葉のトーンから雰囲気まで、どう見ても天皇がおられるという感じでした。僕にとって昭和天皇はふるさとが一緒のお友達のような感じです。宗教の教祖のような人たちの中にも霊的なお友達がありますが、昭和天皇は特に親しい感じです。

今朝、たまたまようこちゃんが先日の生前葬の時にも昭和天皇がいらっしゃっていたと言いました。「最近会ったことのない人が私の所によくおいでになる」と言い、「それが昭和天皇だということがわかった」と言うのです。過去には沢山交流がありました。ようこちゃんがそういう霊的なものをいただき、今日この話をしてくれて、僕も思い出しました。

天皇家は今も息子さんが天皇をやっておられますが、昭和天皇までが現人神。ここから先は現人神と言えるか難しいと思います。我もあれば、執着もある。昭和天皇のように、我がなく、世のため人々のために生きられる魂は、これからの天皇家には降りて来ないのではないだろうか。

そうやって、僕は普通の人が出会えない霊的なもの、理解できない人には怪しい世界の出会いを沢山もらってきました。そして、その時々で近くにいる人にそれを語ってきました。そうすると、私たちの日々の歩みの先に別の所からその裏付けが現れたり、物理的に証明されたりするのです。今ここに集っている人たちも、この不確かな話が真実として裏付けられることで、「信じる」という心が生まれ、ともに歩んできました。理解できることを信じるのは当たり前の話です。それは信じるとは言えません。わからないことを信じられるのが、信じるということです。不確かなことでも大事と思うことを語り合いながら信じて歩むと、その先に色々な形で答えが現れてくるのです。そうして、この信頼の場が出来てきました。

最近夜寝る前に、宇宙（銀河の雲）をイメージして、宇宙を司る神々、神界を司る神々、そ

して地上の聖者、聖人たちといった名前を挙げ、そういったものたちにこの地球の人類を救済するため力を結集しましょうと呼びかける瞑想をしています。それが必要と思った時にその瞑想をするのですが、その影響なのか、5月3日、昭和天皇様もその呼びかけに応じておいでになったのではと思います。今まで重要な役割をしてこられた霊的な人々、また肉体を持つ霊的意識の高い人たちが結集して、新しい扉を開く時が来ています。

れいちゃん

私も過去にそういう場に居合わせました。空気で、昭和天皇がいらっしゃるのがわかりました。本当に真実。記憶では、昭和天皇は「庶民はいいな」とおっしゃっていました。

いさどん：

みんなでコタツに入ってみかんを食べていたら、「庶民の生活はよろしいですね」とうらやましそうにその場を眺めて言うておられました。

まりちゃん：

立っている姿、姿勢が印象的で覚えています。

いさどん：

こういうふうだね。（と言って、前かがみになり手を前にかざす。）

のりちゃん：

ちょっと前かがみで。

いさどん：

話を終えて「今日は失礼します」という時に、そういう姿勢をとられていました。

かずこちゃん：

懐かしい話。またこういう話が出るようになり、国のために、そういう意識を持ってやっていきたい。身が引き締まる気持ちになりました。

まりちゃん：

私も、懐かしい。当時を思い出しました。本当に、信仰から始まった。始まりがそこだった。今でもそうだけれど。昔は「天に心を向ける」が合言葉でした。何か問題が起こると、「上に心を向けるのが足りなかった」と自分たちの心を振り返ってここまで歩んできました。今でも人は増えて一人一人の言葉は違っても、同じ方向を向いている。将来も形は変わっても、そこだけは変わらずにずっといく。

たっちゃん：

生前葬の時に感じたのは、これからは地上も天界も、八百万の神と肉体を持つ我々たちが密に協力し合って、ともに作っていくことが必要だということ。僕らはこういう生活をしていて、志ある者が一人一人目覚めていき、ブッダやイエスとして協力し合っていくのだから、いさどんの行なっているその呼びかけは大切。思いを結集させるということをも自分自身もやっています。

いさどん：

その呼びかけは、「どうか皆さんの思いを結集させて、この地球人類を一つの道に導くことをやっていきましょう」という瞑想です。そのような絵空事なことをやってきて今、ここにこういう場が出来ています。いい加減ではない、本当に信じてやる時代です。やった人はそれに相応しい役割を果たしていきます。わからない人にはわからない。しかし、わからないことを信じていくのが、いかに大事かということです。それを意識して真剣に取り組んだものは、確実に霊的な成長をしていきます。私心を離れて世のために祈ることをすれば、確実に育っていくものです。今は見えないかもしれないけれど、信じて歩いていくと、未来にその裏づけが待っているものです。そして、確実に自分が成長しています。

人はいつか必ず死ぬものです。60年も70年もあつという間に来てしまいます。その時に、本当の尊厳が身につけていて、これこそやるべきことをやり遂げたと大満足で往生が出来るか。本来、それが人として、地上に肉の体をいただいた目的、学び、なしえる、最も大事なことです。できれば、己を置いて世のため人のためにこの心を使いたいものです。それが菩薩行。ブッダとして、キリストとして生きることということです。昭和天皇の心は人々の「安穏で幸せな日々を願っております」という心そのまま、菩薩を生きられた方でした。

---

いさどんが行なっている瞑想は以下の通りです。よかったらみなさんも試してみてくださいね。

★この瞑想は蓮華座を組んで行なうのもよし、上向きに寝た状態で寝る前に両手や体全体、意識を天に向け、宇宙から地球の魂たちに呼びかけるという気持ちを込めて行なうものです。

天之御中主大神（アメノミナカヌシノオオカミ）

高御産巢日神（タカミムスビノオオカミ）

神産巢日神（カミムスビノオオカミ）

伊邪那岐命（イザナギノミコト）

伊邪那美命（イザナミノミコト）

国常立命（クニトコタチノミコト）

天照大御神（アマテラスオオミカミ）

木花咲耶姫命（コノハナサクヤヒメノミコト）  
八百万大神（ヤオヨロズノオオカミ）たちよ

イエス・キリスト  
ゴータマ・ブッダ  
ムハンマド  
ソクラテス  
孔子・孟子  
諸々の聖者たちよ

出口王仁三郎（でぐち おにさぶろう）  
出口なお  
中山みき  
岡田茂吉  
五井昌久  
山岸巳代蔵  
昭和天皇  
ガンジー  
マザー・テレサ  
諸々の聖人たちよ

今、集い、地球の人々の心の扉を開けよ

★あなたが思い当たる神々、仏、聖者、聖人たちの名を思い浮かべればよいのです。声に出して唱えてもよい。

★宇宙を司る魂、地球神界の魂、過去の偉大なる聖人、聖者たちの導き・教えが今までは地球上でバラバラになっていました。7人の聖者（天照大御神、イエス・キリスト、ブッダ、ムハンマド、ソクラテス、孔子、孟子）が現れた時にその聖者たちから感じられたメッセージは、「道は一つ、心は一つ」。しかし、現実には人々の中に道はいくつもあって心は一つになっていません。それを一つにしていくために行なうのがこの瞑想です。天からの意志を受け取り、その意志に目覚めたものとして「私はその意志に目覚めたものです」と、地上から天に向かって呼びかける瞑想です。